

大雨・集中豪雨の季節です 風水害に備えよう!

問い合わせ先
危機管理課（市役所3階）☎32-2042

地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の雨が続きと災害の危険性が高くなります。事前に浸水対策や雷などによる停電時の対策も必要です。

また、局地的な集中豪雨は予測できないことが多いので、大雨情報を聞いたら早めの準備が必要です。

平常時の準備は

■家の周りの保全

- ◎屋根や雨戸を補強し、アンテナはしっかり固定する
- ◎雨どいの掃除、補強を行う
- ◎鉢植えや物干しざおなど、風で飛ばされそうなものは屋内へ移動させるか固定する。プロパンガスのボンベもしっかり固定する
- ◎ブロック塀や外壁のひび割れ・亀裂は補強する
- ◎側溝や排水溝は掃除し、水の流れをスムーズにする

■停電に備える

懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を準備する

■断水に備える

飲料水を確保（1人1日当たり3リットルが目安）する。また、浴槽に水を張るなどして、トイレなどの生活用水の確保も行う

■避難場所・経路の確認

家の近くの避難場所はどこか、避難場所までの安全なルートを確認する

■近所の危険個所のチェック

地域の危険な場所を記載した「防災ハザードマップ」などを参考に、家の周りにどんな危険があるのか普段からよく観察する



災害が発生しそうなときには

■むやみに外出しない

- ◎台風が接近しているときや豪雨の危険性があるときは、むやみに外出しない
- ◎台風が接近しているときに屋根や雨どいを修理するのは非常に危険。絶対にやめましょう

■気象情報に注意する

テレビやラジオで発表される気象庁からの警報・注意報やインターネットで発表される県や市からの情報に注意する

■窓ガラスを補強する

窓を外から板でふさいだり、窓ガラスに×型にガムテープをはるなどして補強する。また、ガラスが飛び散らないようにカーテンを引く

■家財道具を移動させる

浸水が心配される場合は、家財道具や貴重品、生活用品、食料などを高い場所へ移動させる

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まったとき、避難勧告などを発令する判断や住民の自主避難の参考となるよう、県と気象台が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報が発令されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段と異なる状況に気が付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難してください。

自分たちの地域は

自分たちで守る!

自主防災・防犯組織とは、地域の人々が自発的に防災・防犯活動を行う組織です。「自分たちの地域は自分たちで守る」を基本に、地域の皆さんが参加し、自主防災・防犯組織を設立しましょう。

◆なぜ自主防災組織が必要なの？
大災害が発生したとき、交通網の寸断や同時多発火災などのため、消防や警察などが十分に対応できない可能性があります。そのようなときに力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。実際に阪神淡路大震災時には、地域住民が自発的に救出・救助活動を行い、被害の拡大を防ぎ、その後の復興にも大きな力を発揮しました。

また、空き巣や不審者の増加など、犯罪が増加しており、身近な地域における自主的な防犯活動の取り組みが重要となっています。

◆自主防災・防犯組織の活動
平時は、災害に備えるために地域内の安全点検や防災知識の普及・啓発、防災訓練を行います。防犯活動としては通学路などでの見守り、パトロール活動などを行います。

災害発生時には、人命を守り、被害の拡大を防ぐために救出・救助、初期消火、避難誘導などを行います。

◆災害時要援護者を支援しよう
災害による犠牲者の多くが高齢者や乳幼児です。こうした災害に弱い立場にある人（災害時要援護者）を災害から守るためには、地域一丸となって支える体制づくりが必要です。

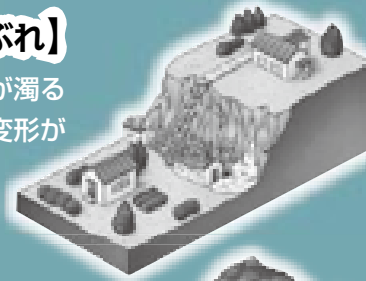
危険を感じたら、早めに自主避難

市内の土砂災害危険箇所は約600カ所

土砂災害発生時には次のような前ぶれがあるといわれています。異変を感じたら早めの自主避難を心掛けましょう。

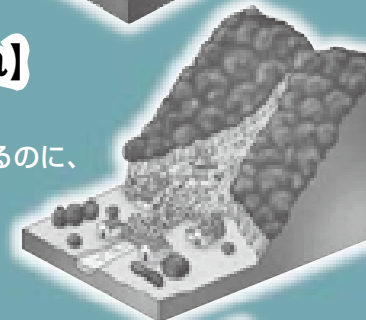
【がけ崩れの前ぶれ】

- ◎がけから流れる水が濁る
- ◎斜面にひび割れ、変形がある
- ◎小石がパラパラと落ちてくる



【土石流の前ぶれ】

- ◎山鳴りがする
- ◎雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ◎川の水が濁ったり、流木が混ざったりしている



【地滑りの前ぶれ】

- ◎地面にひび割れができる
- ◎沢や井戸の水が濁る
- ◎がけや斜面から水が噴き出す



消防団活動へのご理解・ご協力をお願いします

消防団員は市民の生命・財産を守るため、火災など災害時の緊急出動や各種訓練などを行っています。団員の確保や円滑な訓練・活動に対する市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また近年、事業所に勤務する団員の割合が高くなっており、地域の消防防災力の維持・向上のためには、各事業所の協力が必要不可欠です。消防団活動に対する各事業所のご理解とご協力をお願いします。



風水害対策の基本は情報収集から

パソコンや携帯電話からインターネットで最新の情報を入手することができます。

岡山県総合防災情報システム

県内の災害発生状況や避難情報など

☎ <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>

防災情報メール配信サービス

警報などの気象情報や災害情報がメールで配信されます（受信するには事前に登録が必要。通信費などは利用者の負担）

●つやま災害情報メール

市内の被害状況や雨量状況、避難勧告など

☎ <http://www.tsuyama-mail.jp/>
☎ <http://keitai.tsuyama-mail.jp/>



二次元コード

●岡山県防災情報メール

河川水位やダム放流、情報など

☎ <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/mail.jsp>



二次元コード

気象警報・注意報

すべての気象警報・注意報を市町村ごとに発表します

●気象庁ホームページ

☎ <http://www.jma.go.jp/>

●国土交通省防災情報提供センター携帯電話サイト

☎ <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



二次元コード

災害情報をご連絡ください

がけ崩れや家屋の浸水などの災害が発生したり、災害が起これそうな場所を発見したらご連絡ください。

■災害警戒（対策）本部 ☎23-2130

大雨・洪水・暴風などの「警報」が発令されると、市役所本庁・各支所に災害警戒本部が設置されます。

■本庁危機管理課 ☎32-2042

■加茂支所市民生活課 ☎32-7032

■阿波支所市民生活課 ☎32-7042

■勝北支所市民生活課 ☎32-7021

■久米支所市民生活課 ☎32-7011

■消防署 ☎31-1119

